

おしゃべりカフェ時の Q&A

Q1. 相談支援専門員の方はどのように探しましたか？

A. その当時に利用していたヘルパー事務所へ相談しました。相談支援専門員の方との相性も大事で、自分の子の必要なケア(吸引等)に理解のある人だと助かります。

セルフプランもありますが、この曜日にどの支援が介入するかなど、決まるまでが大変です。

Q2. 卒業する前からも相談支援専門員の方を利用することはできますか？

A. 相談支援専門員の方事態が人手不足の現状でもあり、断られてしまうことが多いです。

Q3. 訪問入浴ってどういうもの？

A. 浴槽付きの車で家まで来ます。ベッドから浴槽へ移乗して洗ってくださります。

45分～1時間で行います。来所時間は私の家の子の場合は9:00～と17:00～で、夕方は時間がずれ込むこともあります。訪問入浴以外の日は基本清拭をしています。訪問入浴自体を利用する人が多くて、たくさんは利用できない現状です。またデイサービスで入浴している人は訪問入浴を利用することができないようです。

デイサービスで入浴する際、気管切開のある子のガーゼ交換は看護師しかできないので、看護師必須となります。

Q5. デイサービスを利用していない日に居宅でのヘルプサービスを使用する際に、家族は家にいないといけないのですか？

A. ヘルパーさんが3号研修(特定の子の吸引や注入等をしていただけるための研修)を実施して吸引や注入に慣れるまでは家族は家にいないといけないと思います。医ケアが必要な子の場合は基本的には18歳過ぎたら、単独で利用は可能ですが、私の子の場合は3か月かかりました。いろんな人に3号研修で介入していただくとなると、もっと時間がかかります。

Q6. 就労の望めない場合、どのように過ごされておられるでしょうか？

A. 就労支援A型・B型や生活介護、重度訪問介護などの支援を利用しています。

Q7. 大人になった子どもたちへの向き合い方をどうなさっていますか？

A. 自分(子どもたちを支える家族)が将来亡くなることや自分自身に介護が必要になった時などのことを考えて、たくさんの人たちに見てもらえるようにしています。

Q8. 異性の子どもの介助等、工夫していることはありますか？

A. 子どもが女の子なので、排泄の時などは男性職員には後ろを向いてもらったりしています。

Q9. きょうだい児との向き合い方をどのようにしたらよいでしょうか？兄弟の方に目を向けたり時間を割いてあげたりすることがあまりできなく・・・。

A. きょうだい児のためだけの時間を作ってあげるのはどうでしょうか。月に1回でもきょうだい児と二人でお出かけをしたり、きょうだい児が体調崩すなど本人が辛いときにはその子を優先的に考えて動いてあげたりするなどすると、本人を大切に思っていることが伝わると思います。